

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口 卓也

開催月日	令和5年5月24日			
開催時間	11:00~12:00			
開催場所	グランメッセ熊本			
主催者	RX Japan株式会社 協力:九州農政局			
研修会等の名称	第1回 九州農業WEEK			
講師等の氏名等	九州農政局長 宮崎 敏行 氏			
内容・結果等	【講義名】九州農業のさらなる発展			
	1. 九州農業の特徴(耕地面積等、農業経営体、農地の集約、新規就農、外国人材受け入れ)			
	2. 農業算出額 (算出額の概要、農林水産物の輸出)			
	3. 農業等が直面する課題(気候変動、離農する経営体の農地有効活用、労働力不足、肥料高騰)			
	4. 今後の展開方向(みどりの食料システム戦略、食料・農業・農村基本法の見直し、 農地の効率的な利用、安定的な農業生産、省力化と労働力の確保、資材高騰への対応)			
	【まとめと感想】			
	九州農政局が把握されている情報をもとに現在の農業を取り巻く状況や課題をデータを用いて説明していただいたので、とてもわかりやすく納得がいくものであった。			
	高齢化などを背景に今後も離農する経営体は増加し、今後10年間の経営体はこれまでの2倍のスピードで減少する見込みであり、一人あたりの農地面積は2030年では2020年の3割増となる見込みである。農地集約や効率化が必須の課題で対策を進めていく必要があると感じた。			
	上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 ( 円 )
		会場費		
講師謝礼				
出席者負担金				
会費				
旅費		旅費規程により算出 (肥前鹿島~熊本~会場)	13,140	
宿泊費				
合 計			13,140	

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口 卓也

開催月日	令和5年5月24日		
開催時間	13:00~14:00		
開催場所	グランメッセ熊本		
主催者	RX Japan株式会社 協力:九州農政局		
研修会等の名称	第1回 九州農業WEEK		
講師等の氏名等	麻生大学生命・環境科学部教授 江口祐輔 氏		
内容・結果等	【講義名】獣害対策の基本(野生動物の行動特性を考慮した被害対策)		
	1. 野生鳥獣による農作物被害		
	①農作物被害に焦点をあてず、野生動物の数を減らすことが目的化した		
	②捕獲頭数が増えても、農作物被害は減っていない(H9→H30)		
	2. 客観的に被害状況を知る		
	①野生動物の素顔を知る		
	(イノシシも立ってでも食べる。イノシシは以前は子どもの4~5頭は半年で半分死んでいたが、今は1年中栄養を得ているので死ななくなった。イノシシは飛ぶんで柵を超えているが実際は柵の下をくぐる。電柵は20、40cmの2段に(30、60cmだと鼻先が当たらず効果なし。刺激臭は効果なし、むしろ大好き。尿などの臭いで追い払うことはできない。光も効果なし。イノシシの鼻先で70kgを持ち上げる力があるので、ワイヤーメッシュの下や地面を強化すべし。)		
	②総合的な対策(STEP①環境管理、②田畑を効果的に囲う、③適切な捕獲)		
	【まとめと感想】イノシシの生態を研究動画などをもとに講義していただきとても参考になった。		
	上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先
会場費			1ページに記載
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			
旅費			
宿泊費			
合 計		0	